

事業所名

放課後等デイサービスLife is beautiful

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和6年

12月

17日

法人 (事業所) 理念		～個性に寄り添い、明るい未来へ～ 明るい地域社会を作り出すために、医療・福祉・教育等の問題について職場だけでなく、関係機関及び地域の方々と共に必要な事業を検討し実行して参ります						
支援方針		よく見る、よく聞く、よく関わる。 個々の性格に応じてコミュニケーションをとりながら、様々な活動を楽しくのびのびと行えるように支援して参ります。						
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や日々の体調管理 ・挨拶、衣服の着脱、排泄、食事、危機回避、安全対策等の基本的な生活習慣の獲得を目指した支援。それぞれの特性に応じて手作業系やゲーム方式、絵カード等の教材、支援法を用いて進めていく。 (例)・ボタン掛け、ジッパー開け閉め、靴ひも結び ・服の裏返し直し、靴の左右理解						
	運動・感覚	姿勢や運動・動作・感覚の支援 ・器械運動や模倣運動を活用して体の動かし方について楽しく理解し、身体を動かす楽しさを感じてもらえるようにする。 ・姿勢保持を図る ・様々なものに触れることで感覚欲求も満たしていくと共に、それぞれの感触、感覚に興味を持てるようにする。						
	認知・行動	遊びを通じて認知や行動の発達を促し外部環境への興味も引き出していく ・文字や数字、形、色などを取り入れた課題や、遊びを行う事で認知を促す。 ・自分の話、相手の話などを間違った認識で捉えないよう、認識の確認、振り返り等を行う事で情報を整理できるよう支援する。 ・理解してきた文字や形を外部環境でも見つけ認知していく。						
	言語 コミュニケーション	個々の特性に応じたコミュニケーション手段の確立を図り、自己決定や自己表現の幅を広げる。 ・言語の形成(5WIHを含む)を視覚、聴覚、ロールプレイング等から習得し、自発的に発声できるよう復唱等の方法をとる。自発的に発声が難しい場合には絵カードやジェスチャー(指差し、身振り、サイン等)の方法も伝え、他者とのコミュニケーションを楽しめるよう促していく。 ・読み書き能力の向上を図るため、普段学習で使用する筆記用具以外にも、タブレット等も使用し個々に応じて対応することで前向きに取り組める環境を用意していく。 ・遊びを通じて相手の意図を理解し、自分の考えを伝えるなど言語を受容し表出する為の支援をする。 ・伝わる成功体験を積み重ねることで、コミュニケーションの意欲を高めていく。						
	人間関係 社会性	他者との関わりを楽しみ、同年代や異年齢との関わる楽しみを知る。 ・安心して他者と関わりを持てるよう愛着と信頼関係の構築を図り、環境設定を行いながら安心して楽しめるようにする。 集団での遊びを通して手順やルールを共有し社会性の発達も促していく。 ・様々な場面を想定したロールプレイングや絵本、紙芝居等の内容を振り返る活動をする事で、状況に合わせた言葉、挨拶、対応を理解できるよう支援する。						
家族支援		・年に2回保護者の方との個別面談を行い、療育相談や方針の確認をする。 ・安心して通所できるよう、相談しやすい雰囲気作り、信頼関係を築いていく。 ・状況に応じて利用日や、利用時間の変更などを可能な範囲で対応する。			移行支援		・学校との連携、つながりある支援を実施 ・就学に向けた情報共有	
地域支援・地域連携		・関係機関と日常的な情報共有を行い、連携を図る。 ・他事業所との合同イベント等を開催しつながりを持つことで利用者同士、支援員同士の関係の幅を広げていく。地域のお店等にお散歩や体験を通してつながりを持つ。			職員の質の向上		・面談実施(年1～2回) ・研修会の実施 ・定期的なミーティング	
主な行事等		春：お花見・お散歩会 夏：夏祭り・プール・キャンプ 秋：ハイキング・ハロウィン・ご飯作り・防災イベント 冬：クリスマス・初詣・うどん作り・豆まき ※月1回 避難訓練						